

担任し
お別れハイク
春の山 忠文

神戸市会議員

ただ ふみ

うらがみ忠文新聞

2018年
春夏の号

喜んで登校、満足して下校。

題字の言葉は、この春、訪問した小学校の校長先生からお伺いしたモットーです。いいなあ、胸が熱くなりました。まいりました。こんな短くて、物事の本質を明るくさわやかに表した言葉をほかに経験したことがありません。

世界中の学校が、こうありがたいものです。どんな組織でも企業でも、こういうことで行きたいものです。

学校に行く。勉強して、友だちとけんかして先生に叱られて、それで仲直りして、給食当番でバケツをこぼす失敗をしてクラス中に笑われて、これから気を付けようと思って、友だちに励まされて仲良く下校する。

また次の日、勉強して新しいことを知る。社会のありがたさに気づく。

学校は、夢と希望を育む創造の館。校長先生、熱い熱い大握手を交わしました。

うらがみ忠文

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
- ・元 大丸神戸店「くじゃく通信」編集長
- ・元 神戸市立御影北小学校 PTA会長
- ・NPO 障がい者就労支援作業所 副理事長
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2015年 神戸市会議員6選
- ・無所属「創造都市、福祉充実を目指す」

毎日発信のブログは、4,300回を迎えました。ありがたいことです！



JR住吉駅山側・シーア玄関前。みなと銀行住吉支店東隣り。お気軽に!

●「うらがみ忠文ネットワーク」談話室

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-3 矢野ビル3F

TEL/FAX 078-841-1042 Eメール tadafumi@uragami.jp

うらがみ忠文

検索

●〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会無所属 浦上忠文発行 TEL 078-322-5863

【議会報告】

春の本会議。私の代表質問の要旨。

■本年度の予算案で、市長は、次の6つの柱を提案された。

・輝く子どもたちの未来を創る ・健康安全をまもる ・街と地域を創る ・神戸経済を伸ばす ・陸海空の拠点を創る ・市政改革を進める、であります。中身は豊かで、このひとつひとつが本当に実行出来たら、素晴らしい神戸になると思う。

そのためには、市民の協力が欠かせないのではないか。

「6つの柱」実現のために「市民ひとりひとりに期待すること！」を市民に語りかけてはいかがでしょうか。

★久元市長の答弁

浦上議員のお話を、さっきから聞いておりました思い起こすのは、ケネディ大統領の有名な就任演説ですね。

「国が何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何を成すことができるのかを問うて欲しい」

私は、ケネディ大統領ではありませんので、そこまで市民の皆さんに語りかける勇氣はありません。

市政のために何かをやって頂きたいというよりは、市民の皆さん1人1人が、隣人たちのために、地域社会のために、そして何か、人々のために何かをやって頂きたい、という気持ちを持ちます。

■イノシシの被害が神戸市は全国一だそうです。GPS(位置測定システム)を活用してイノシシの行動を調べ、有効な対策が出来ないでしょうか。

★岡口副市長の答弁

イノシシの被害は、たいへん深刻なものである。本市では、イノシシ条例で、餌付けの禁止と共に、猟友会との協力のもと捕獲にも取り組んでいる。

GPSでの調査は県が行ったことがあるが、決定的な有効策にならない。

山からのイノシシの進入路はハイキングコースが多く、わなの設置が難しい。

防護さくを設置しても、大回りしてやって来る。

効果的な方法について、専門家と調査研究を進めている。

当面は、餌付けの禁止と有害個体の捕獲に全力を尽くしたい。

ケネディ大統領の演説を、
市長は英語で言われました。
議場が沸きました！

浦上忠文

